

## 広島市立己斐上中学校 第3学年「美術科」シラバス

### 学年の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を深める。
- (2) 対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的、総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を工夫し想像的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然・美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞能力を高める。

月	学習内容(時数)	学習ねらい
4	オリエンテーション	【1】 ・ 美術を学ぶ意味や、表現することの素晴らしさを感じ取る。
	1 感じたことを話し合おう 鑑賞① 「クリスティーナの世界」	【1】 ・ 「ここはどんな場所だろう」「この人は何をしているのだろう」と問いかけられ、形や色彩などから生じる感情やイメージなどを基にして意見やスケッチを描く。
5	2 人間と自然への賛歌	【10】 ・ ルネサンス期の作品を鑑賞し、感じたことや考えたことを基に表現することに興味を持ち、主体的に心豊かな表現の構想を作品に生かそうとしている。
	ルネサンスと美術 鑑賞②	・ 感性や造形感覚などを働かせて、形や色彩などの表し方を身につけ、意図に応じて遠近法を生かし、制作の順序などを考え、見通しをもったりしながら、創意工夫して表現している。
6	3 遠近法の種類 / 見え方の不思議 奥行きのある風景 室内デザイン アイデアスケッチ / 作品鑑賞	・ 奥行きや広がりを感じる風景やモチーフを造形的に平面に描くことができる。 ・ 奥行きのある表現を学習し、構成を練ることができる。 ・ 室内をイメージしたアイデアを構成を工夫し、イメージを膨らませてスケッチすることができる。 ・ 友人の作品を鑑賞し、お互いに評価し高めあえる。
	4 展示に託されたメッセージ 鑑賞③	【1】 ・ 美術館で働く人々の役割や機能を紹介し、社会の中で美術がつながるものを感じとることができる。 ・ 世界にある美術館の作品と役割について知り、鑑賞することができる。
7	5 私との対話 自画像 鉛筆の性質を学ぶ (クロッキー) デッサンとクロッキー 部分の描写 グレースケール	【7】 ・ 自分を見つめ、自分の特徴や性格、思いなどについて考える。 ・ 自分がより表れるように表現技法や構図、色彩などを検討する。 ・ アイデアスケッチを基に、主題が表現されるように描く。 ・ 対象を素直に観察し、形や特徴を新鮮な感覚でとらえる。 ・ 対象の色や形、質感を理解し、立体的な表現で描く。
	9 クロスハッチング 作品鑑賞	・ 感性や造形感覚などを働かせて鉛筆などの特性を生かし、表現方法を工夫して制作の順序などを総合的に考え、見通しを持って創造的に表現ができる。 ・ 感性や想像力を働かせて自分の姿を見つめ、感じ取ったことや考えたことを基に表現した作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取ることができる。
10	6 祈りの形 仏教美術 鑑賞④	【2】 ・ 仏像などの文化財の造形的なよさや美しさ、文化財を鑑賞して感じたことや考えたことを基に、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などを感じ取って祈りの形を生み出してきた文化についての理解や見方を深めることができる。
11	7 版表現の豊かさ	【8】 ・ 版表現の多様性に興味を持ち、刷りの効果を生かす工夫を考えながら版で表す。
	12 凹版画 ドライポイント アイデアスケッチ 版画の種類 描画 彫り 摺り 作品鑑賞	・ 構想、構成を工夫してイメージを膨らませて想像したことをスケッチすることができる。 ・ 凹版画と凸版画の違いを理解し、造形的な魅力を版で表現できる。 ・ 彫りや刷りの基本的な技能を習得する。 ・ 版の性質や材料、技法の特徴を生かし、ニードルを正しく使って線の強弱を工夫して版作りができる。 ・ 正しく安全にプレス機が使用でき、凸部にインクをつけて刷れる。 ・ 感じ取ったことや考えたことを基に表現された作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取ることができる。
2	8 今日の美術	【1】 ・ 現代の美術作品を鑑賞し、社会の変化を感じ取る。
	9 線の表現	【4】 ・ スクラッチボードの特性、技法を理解し表現方法を工夫する。 ・ 構想、構成を工夫してイメージを膨らませて想像したことをスケッチすることができる。
3		

### 評価の方法

- |                |       |                                     |
|----------------|-------|-------------------------------------|
| ① 美術への意欲、関心、態度 | ..... | 定期テスト、授業の様子、制作表、制作表、忘れ物、提出物の状況などで評価 |
| ② 発想や構想の能力     | ..... | 定期テスト、アイデアスケッチ、作品の配色決め、作品の構成などで評価   |
| ③ 創造的な技能       | ..... | 定期テスト、作品のオリジナリティー、色作り、完成度などで評価      |
| ④ 鑑賞の能力        | ..... | 定期テスト、観察画、作品鑑賞の感想文、鑑賞メモ、制作表、などで評価   |